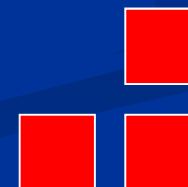




何故、今ベトナム人材なのか？

ベトナム人技能工・エンジニアの採用と戦力化



■ベトナムはこんな国



国名:ベトナム社会主義共和国 (Socialist Republic of Viet Nam)

1.面積 32万9,241平方キロメートル

2.人口 約8,616万人(2008年)

3.首都 ハノイ

4.民族 キン族(越人)約86%、53の少数民族

5.言語 ベトナム語

6.宗教 仏教(80%)、カトリック、カオダイ教他

7.略史 千年を超える中国支配を経験した中国文化圏最南端の国。



■ベトナムの現況 1

1.主要産業

農林水産業、鉱業、軽工業

2.GDP

882億米ドル(2008年 越統計総局)

3.一人当たりGDP

1,024米ドル(2008年 越統計総局)

※但し、インフレやドル安の影響もあり、実質は900ドル程度

4.経済成長率

6.23%(2008年)(前年同期は8.38%)

5.物価上昇率

19.9%(2007年12月比)

6.失業率

4.6%



郊外のニュータウン



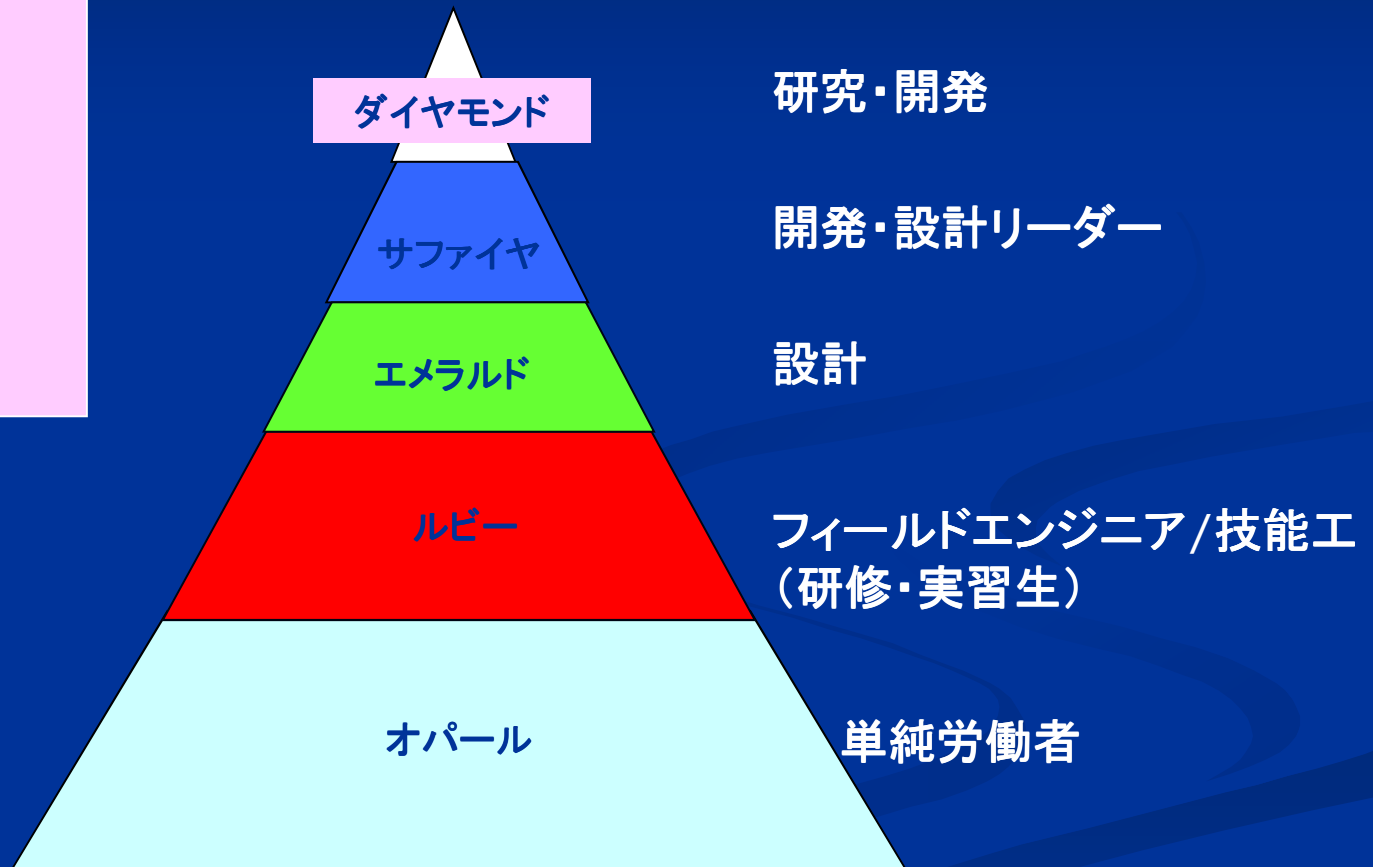
コンビニ



家電量販店

選考基準

- 資質
- 大学
- 成績
- 経験
- 語学力



■人材の特性

<長所>

- 1, 全般的な傾向 性格が穏和、勤勉、親日的、ハングリー精神がある、手先が器用
- 2, エンジニアとしての長所
 - ・基礎的な学力に富む(数学、物理、化学)
 - ・ストレス耐性が高い(日本と異なり、ストレス耐性(我慢する力、頑張る力 問題解決する力)を持つ人材を採用段階で選定可能)

<短所>

- 1, 全般的な傾向 自らの判断でリスクを取ることに慎重
- 2, エンジニアとしての短所
 - ・中国人と比べて日本語のコミュニケーション能力が弱い
 - ・自分の考えを積極的に発言しない(北部)
 - ・短期的な視点に陥りがちな為、具体的な目標設定を施す(短期、中期、長期)必要がある
 - ・理論については勉強しているが実験などの経験に欠ける

■事例

1, 一部上場化学会社

- ・一定レベル以上の日本人エンジニアの採用難
- ・アジア全域から優秀な理工系学生を採用
- ・東工大ルートからベトナム人学生の優秀さを聞いていたこと
- ・6ヶ月間の試用期間の後に将来のプラントエンジニアとして正社員採用

2, 一部上場機械(船用部門)

- ・電気系人材の不足
- ・アジア全域でサービス拠点を作る計画あり
- ・英語で教育が出来る人材の育成が必要と判断
- ・船舶コントロールシステムのメンテナンスエンジニア2名
メンテナンスエンジニアを教育するインストラクターエンジニア2名
- ・適性を見て回路設計部門に配置する予定あり

3, 一部上場クルマ部品

- ・一定レベル以上の派遣エンジニアの不足
- ・ニッサンテクノのベトナムでの成功
- ・将来的に不足する3DCADソフト(CATIA)で設計を理解している人材の確保
- ・CATIA経験のあるエンジニアに1ヶ月間CATIAの再教育
- ・将来的に人員増計画あり

■ 研修・実習生について

- ・JVコンサルティングではエンジニアの紹介・派遣の他に研修生・実習生の支援事業も行っています

- ・主な対象職種

■ 溶接工 ■ 塗装工 ■ プラントオペレーター など

- ・研修生、実習生の選考基準について
研修生、実習生の場合はエンジニアと若干異なった選考、採用が必要です。

3年で帰国するという期限があるため

- ・日本の環境にとけ込める人材であるか？
- ・周りとうまくやっていける素直な性格であるか？
- ・帰国後の目標を持ってまじめに仕事に取り組めるか？
- ・目先の給与だけが全てではないと理解できる人材であるか？

このような資質を持っているかどうか？

これが・現時点での日本語能力・現時点での技術スキルより優先して考えるべきことと理解しております。

■ 研修・実習生の教育体制（ベトナム）

1, どのような人材を選ぶか？

基本的な資質についても重要ですが、

- ・技術を優先させて人材を揃えるのか？
- ・人材が良ければ再入国が可能な人材を選ぶのか？（研修生は3年間の研修・実習の後は日本に再入国出来ません）
- ・日本語のコミュニケーション能力重視なのか？

2, 技術を優先させる場合（技能工のケース）

経験のある技能工に日本語教育を3ヶ月程度行い入国させる事が出来ます

3, 再入国可能な人材がよいケース（現地工場の管理職養成の為に日本に再度招致する可能性がある場合など）


当社提携の短大で理工系学部を卒業した生徒（1年以上勤務経験あり）から募集可能です。理工系短大卒の方は「技能」職で再入国が可能です。

4, 日本語コミュニケーション能力重視のケース

職場によっては10～20名以上のベトナム人研修・実習生が勤務するケースがあります。日本語コミュニケーションスキルが高い人が何人か、最低1名はいた方が仕事が進めやすい環境になります。

■ 当社では、人物を重視し、その上で日本語教育・技術教育を施す体制を整えております。

■面接から入国・フォローまで

- 1, **面接** JV東京(もしくは貴社内)  ハノイ・ホーチミン
ポリコム社製 TV会議システム(もしくはスカイプ)
- 2, **現地視察および面接 & 技能チェックなど**
技能学校、日本語学校、大学など
- 3, **在留資格申請** 技術者の場合は約3週間~4週間
研修生の場合はJITSCOに申請 約2~3ヶ月
- 4, **技術職(研修生)による就労(研修生)ビザ申請**
在越日本大使館・総領事館
- 5, **エア手配、住居準備**
- 6, **来日・研修・勤務開始**
- 7, **メンタルサポートスタッフによるフォロー**
- 8, **日本語教育の継続**

■ J Vコンサルティングの強み

- ・当社の強みは単なるベトナム人エンジニアの紹介・派遣、研修生の支援などの業務にとどまらないことです。
ベトナム現地に拠点を設けており、ベトナム現地で設計・開発拠点を設立する際のサポート業務や現地調査などコンサルティング業務も可能です。

■ 事例1

中堅試作品メーカー様

ベトナム人研修生・エンジニアを受入後にその能力の高さからベトナムに設計拠点を設け、コスト競争力の向上を計画。現在ハノイ近郊に工場とオフィスを設立しUG(3DCADソフト)Mastercamのエンジニアを30名育成。今後大幅に増員計画を持つ。

- ・会社設立・用地手配・人材募集(管理職・エンジニア)・各種手続きなど担当

■ 事例2

国営造船会社VINASHINとの接点を探していた上場メーカー様に

- ・VINASHIN幹部との面談セッティング
- ・ベトナム北部エリア有力Shipyardの購買担当者との面談のセッティング

■JVコンサルティング事業概要

1. ベトナム進出コンサルティング
2. ベトナムでの日系企業向けサービス（人事総務、生産委託請負）
3. ブリッジエンジニア育成
4. ベトナム人技術者の紹介・派遣事業
5. オフショア業務請負

・株式会社ジェイヴイコンサルティング

・代表者 代表取締役 中村 隆彦

・資本金 3900万円

東京都新宿区西新宿8-5-5コムビル5F tel 03-6659-7180 fax 03-3367-1888

・ホーチミンオフィス

87 NGUYEN THAI HOC Street,, District 1, Ho Chi Minh City tel +848-838-6364

・ハノイオフィス

Minh Nhat Japanese Center - B1 Post telecommunication apartment building - Nguyen Khanh Toan street Cau Giay district - Ha Noi tel +844-281-3432